

オープン・コム

No. 22
2009.3

より快適に病気を治す！

2008年9月に小児病棟改築を行った時に、「アーツプロジェクト」というNPO法人に芸術的な視点から病棟空間造りをお願いしました。具体的には廊下壁面と天井を中心に森をイメージした壁画を描いていただきました。出来上がりはこの写真からわかるように本当に病棟全体を包み込む優しい空間に生まれ変わり、依頼した我々が目を見張る出来栄です。

入院した子どもの反応を見ると、患者さんが治療中24時間過ごす病院空間の快適性がいかに大切かを再認識すると同時に、さらに快適な病院空間は患者さんだけでなく、我々医療従事者にとっても非常に重要であることに気付かせてくれました。

快適な医療環境により医療従事者の心の余裕が生まれ、

患者さんの人的アメニティーの向上につながってくれればと願っています。(小児科部長 佐野 哲也)

病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

(1) 病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

(2) 地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

(3) 患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見(セカンドオピニオン)を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます



大野 喜代志 外科部長

専門 呼吸器外科
経歴 1974年 大阪大学医学部卒業
資格 大阪市立大学医学部臨床教授
 日本外科学会専門医・指導医
 日本胸部外科学会認定医・指導医
 日本呼吸器外科学会専門医・指導医

大阪厚生年金病院では、4名の呼吸器内科専門医と、3名の呼吸器外科専門医の充実したスタッフで、呼吸器疾患の診断・治療に携わっています。呼吸器疾患の中でも特に肺がん患者さんの数は、年々増え続ける傾向にあります。肺がんは症状が出にくく、発見時にはすでに進行していることが多いため、治療は難しいといわれています。

しかし、最近では、肺がんの治療法は進歩してきて、がんから解放される患者さんが増えてきました。手術や抗がん剤や放射線を上手に組み合わせ、治療成績の向上を図るわけですが、そのためには呼吸器外科や呼吸器内科、さらに放射線治療科の各専門医がチームを組んで治療にあたる必要があります。ところが残念なことに、現在全国的に呼吸器内科・外科の医師不足が指摘され、社会的な問題にもなっています。

そのなかで、当院では豊富な各科専門医が連携して、一貫したチーム医療をおこなっています。患者さんと医師が最善の関係をつくる接遇を心がけ、患者さんにとって納得できる治療と安心をご提供できるよう診療に取り組んでいます。

また、当院は大阪市の中心部にあり、交通の便にも優れています。呼吸器疾患でお悩みのかたは、かかりつけ医を通してご予約の上、ぜひ大阪厚生年金病院にご来院ください。

● 診療内容 (診療対象疾患)

※詳細については当院のホームページ <http://www.okn.gr.jp/> もご覧ください。

呼吸器外科	肺がん、転移性肺腫瘍、自然気胸、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫、筋無力症など
呼吸器内科	肺がん、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群、いわゆるかぜ症候群や、気管支炎、肺炎など

● 肺がん診療について

肺がんの診断について

- 胸部レントゲン写真でみつかった異常な陰影は、痰の細胞検査や気管支鏡(カメラ)検査で診断されます。
- 肺がんの治療法は、肺がんのリンパ節や他の臓器へのひろがり具合(病期といい、Ⅰ期からⅣ期まであります。)によって決定されます。治療前にCT、MRI、アイソトープ検査、PET検査さらに縦隔鏡検査を実施して、その検査結果を内科と外科合同のカンファレンスで検討し、病期を決定して治療法を選択します。
- がんの進み具合(病期)を厳格に決定するために、他の施設ではあまりおこなわれない縦隔鏡検査(CT検査などの画像検査だけではなく、直接リンパ節を採取して組織学的に正確に転移を調べる検査)を施行し、その結果をもとに正しい治療法を選択しています。

肺がんの病期と当院の治療法

病期	がんの状態	当院の治療方法
Ⅰ期	がんはリンパ節や他の臓器に広がっていない	手術(+術後化学療法)
Ⅱ期	肺門のリンパ節に広がっている	手術(+術後化学療法)
Ⅲ期	縦隔リンパ節に広がっている	手術・放射線治療・化学療法の組み合わせ
Ⅳ期	他臓器に転移している	化学療法

※Ⅰ期では、低侵襲の胸腔鏡手術を多用しています。

※Ⅱ期では、標準的な肺葉切除術を施行しています。

※Ⅲ期では、抗がん剤治療と放射線治療をおこない、その後に手術を施行しています(集学的治療)。

● 当院の肺がん手術成績(2007年)

病期	ⅠA期	ⅠB期	ⅡA期	ⅡB期	ⅢA期	ⅢB期
5年生存率	86%	86%	67%	55%	25%	20%

(対象: 255人の非小細胞肺がん患者)

● 肺がんの化学療法について

- 当院での肺がん化学療法の基本概念は、患者さんにできる限り肉体的・精神的な負担をかけないで最大限有益な治療効果を獲得するというにあります。
- 患者さん個々の肺がん組織型に応じ、最良と考えられる抗がん剤の組み合わせを検討し、治療にあたっています。
- 当院の外来治療センターをご利用いただくことで、抗がん剤の化学療法を通院で受けられることも可能です。患者さんが日常生活を極端に変えることなく治療を受られるようになりました。
- 手術前後の抗がん剤治療は呼吸器内科専門医が、放射線治療は放射線治療専門医が施行して、役割分担を明確にすることにより、副作用が少ない有効な治療を提供いたします。

● 診療の特色

- 呼吸器外科と呼吸器内科は呼吸器グループとしてチーム医療を推進し、呼吸器疾患を持つ患者さんの診断と治療にあたっています。
- Ⅰ期の肺がん手術やその他の呼吸器外科手術には、傷が小さく、侵襲の少ない内視鏡(胸腔鏡)手術を多用しています。
- 気管支喘息は外来で吸入ステロイドや気管支拡張剤を中心とした治療をおこなっています。
- 肺気腫や肺結核後遺症などで慢性的に呼吸困難に苦しんでおられる患者さんには、在宅酸素療法を導入しています。
- 睡眠時無呼吸症候群の検査、治療、療養指導を一貫しておこなっています。
- 禁煙外来、禁煙教室をおこなっています。
- 患者さんに病状や検査、治療内容を十分に説明し、同意のもとに診療させていただきます。また、セカンドオピニオンに対しましても誠実に対応いたします。

● 診療実績 (2008年1月1日～12月31日)

外来診療	新規患者数	(外科)	102	名
	新規入院患者数	(外科)	99	名
	手術総件数 (内視鏡手術)	91	(39)	件
入院診療	呼吸器外科手術	肺癌	36	(2) 件
		自然気胸	14	(8) 件
		縦隔腫瘍	5	(1) 件
		胸膜中皮腫	3	(1) 件
		転移性肺癌	2	(2) 件
		縦隔鏡生検	19	(19) 件
		胸腔鏡生検	2	(2) 件
		開胸生検	1	件
	その他	9	(4)	件

※新規患者数、入院患者数：(呼吸器内科)は、他の内科疾患グループとともに、全内科患者数として表示されるため掲載せず

● スタッフ紹介

呼吸器外科



稲田 啓次 部長 (呼吸器一般外科担当)

専門 呼吸器外科
経歴 1983年 大阪大学医学部卒業
資格 日本外科学会専門医
日本胸部外科学会認定医
日本呼吸器外科学会専門医



板野 秀樹 部長 (呼吸器内視鏡外科担当)

専門 呼吸器外科、胸腔鏡手術
経歴 1990年 島根医科大学卒業
資格 日本外科学会専門医・指導医
日本呼吸器外科学会専門医・指導医
日本気管食道科学会専門医

呼吸器内科



佐々木 義明 部長 (呼吸器内科担当)

専門 呼吸器内科全般、肺がんの診断と治療、気管支喘息の診断と治療、呼吸器核医学
経歴 1985年 奈良県立医科大学卒業
資格 日本内科学会認定医・指導医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会認定医
日本核医学会認定医



田子 謙太郎 医長

専門 呼吸器内科全般
経歴 2002年 福井大学医学部卒業



鈴木 夕子 医長

専門 呼吸器内科全般・呼吸器内視鏡診断
経歴 1993年 奈良県立医科大学卒業
資格 日本内科学会認定医・指導医
日本呼吸器学会専門医・指導医
日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医



田中 陽子 医長

専門 呼吸器内科全般
経歴 2002年 富山大学医学部 (旧 富山医科薬科大学) 卒業



患者さん、一般の方への メッセージ・お願い

- 私たちは誠実性をモットーに、患者さん一人ひとりに時間をかけて病状を説明し、また治療法とともに決定しています。患者さんに「この病院で治療をしてよかった」と思っただけののを何よりの励みとしています。
- 当院には、豊富な呼吸器専門医 (外科、内科) が揃っていますので、診断から治療まで安心して任せていただきたいと思います。
- 当院の診察、検査を希望される方は、かかりつけ医の先生を通してご予約ください。



かかりつけ医の先生への メッセージ・お願い

- 呼吸器外科と呼吸器内科は、ともに、火曜日以外の週4日間外来診察をおこなっていますので、患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。主治療が済み次第、諸先生方に逆紹介させていただき、緊密な病診連携をとらせていただきます。



呼吸器(外科・内科)専門医を 目指す臨床研修医の皆さんへ

- 呼吸器グループは活気にあふれ、全員一丸となってよりよい医療の実施をめざしています。
- 親切丁寧で経験豊富な指導医にもめぐまれています。
- 後期研修終了後には、ぜひ、専門医取得をめざして、臨床に励んでいただきたいと思います。

初期臨床研修を終えるにあたって

初期臨床研修 修了者をご紹介します（五十音順）



浅野 佳奈 医師（大阪大学出身）

学生時代に当院で実習をさせていただき、丁寧なご指導を受け大変勉強になったので、初期研修でも当院を希望しました。学生時代とは違い、患者さんを診る責任の重大さ、教科書どおりにいかない診断と治療の困難さにくじけそうになることもありましたが、多くのスタッフの方々のご指導や患者さんの言葉に支えられました。来年度も引き続き大阪厚生年金病院でお世話になりますが、少しずつでも受けたご恩をお返しできるようにがんばっていききたいと思います。



鑄谷 成弘 医師（大阪市立大学出身）

病棟での診療の他に、救急当直で様々な症例を診させて頂き、大変勉強になりました。優秀な先輩、同期、そして後輩達に日々刺激を受ける毎日でした。周りで支えて頂いた先生方や医療従事者の皆様に大変感謝しております。今後も日々精進して参ります。ありがとうございました。



荻野 舞 医師（兵庫医科大学出身）

各科の先生方には熱心かつ親切な指導をしていただき、コメディカルの方達も温かく、そして優秀な同期にも恵まれた2年間でした。

様々な面において、時に楽しく、時に辛く…。決して楽な初期研修とは言えなかったですが、だからこそ今後の医者人生の第一歩として、素晴らしいものとなりました。ありがとうございました。



下 直樹 医師（大阪大学出身）

各研修の中で、他科の先生方との連携の重要性を強く感じましたが、大阪厚生年金病院では各科の先生方が互いに非常に協力的で、チーム医療が根付いていることを実感しました。

今後も研修で得た知識・技術を生かし、思いやりのある医療を実践できるよう、研鑽を積んでいきたいと思っています。



高野 浩司 医師（大阪大学出身）

あっという間の2年間でしたが、とても充実した研修生活を送ることができました。何よりも指導医の先生方の意識が高く、日常の診療や勉強会で多くのことを学べ、また、医者としての今後の目標となる先生方にもめぐり合うことができました。研修医としてのフレッシュな気持ちを忘れることなく、今後も医師として研鑽を積んでいきたいと思っています。



竹田 理恵 医師（兵庫医科大学出身）

2年間の研修は出会いの期間でした。社会人として、医師として右も左も分からない私を指導して下さった先生方、凹んだ時や苦しんでいる時に励まし助けてくれた同期、また社会の渡り方をアドバイスして下さった患者の皆様。今までを顧みて、お世話になった方々に認められるようにになりたいと思います。



武田 梨里 医師（兵庫医科大学出身）

初期研修を始めるまで考えていなかった消化器内科医を目指すきっかけとして、初期研修でご指導頂いたオーベン（指導医）との出会いがありました。熟練した手技や豊富な知識はもちろんのこと、患者さんとの接し方で学ぶことも多く、これまで漠然と考えていた自分の目指すべき専門と医師像を明確にできました。少しでも理想に近づき、よりよい医療が提供できるよう、邁進していききたいと思います。



田中 智彦 医師（産業医科大学出身）

指導医の先生方が熱心に指導してくださり、勉強熱心な同僚にも恵まれたため、非常に有意義な研修となりました。特に、救急当直で様々な疾患を診ることが出来たことは今後の医師生活の礎となります。来年も大阪厚生年金病院で働かせていただきますので、よろしくお願い致します。



田中 裕美子 医師（近畿大学出身）

色々な科をまわり、それぞれの科の先生方が熱心に教えて下さり本当に感謝しています。また、仕事や勉強面でも刺激をうけ、苦しい時は支え合える同期にも恵まれました。今後は自分にできる事を増やしていき、今まで学んだ事を生かして頑張りたいです。



橋本 朋子 医師（広島大学出身）

2年間の初期研修の中で、たくさんの先生方にご指導いただき感謝しています。病棟では担当医となり、実際に患者さんを前にし、診療の難しさを知りました。また、救急外来では医師としての責任の重さなどを改めて実感しました。

医師として勉強することは尽きませんが、今後も一步一步前に進んでいきたいと思っています。



林 和憲 医師（大阪市立大学出身）

手厚い指導をして下さった先生方と、勉強熱心な同期に恵まれて、有意義な研修生活を送ることができました。この場を借りて感謝すると共に、2年間の貴重な経験を今後の医療人生に生かしていきたいと思っています。



松山 恭悠 医師（大阪大学出身）

2年間の研修を終えて良かったと思うのは、各科の先生方のご指導が熱心で、ささいな相談にも気軽に応じて頂いた点です。また医師だけでなくコメディカルの方々も親切に我々の学びたいという姿勢に応じて下さるため、自分のやる気次第で研修が二重にも三重にも充実したものとなりました。後輩にも自分の得た経験を伝えていきたいと思っています。



宮下 昌大 医師（大阪市立大学出身）

* common disease…日常臨床の場でよく診る一般的な病気

私は市大とのたすきがけで、2年目を大阪厚生年金病院で研修しましたが、大学と市中病院の双方を経験でき、非常に良かったと感じています。大学病院では、肺炎等の common disease* はほとんど診ることがなく、また麻酔科を選択したため救急を経験することはありませんでした。その点、2年目で小児科の3ヶ月、選択の外科でのICU患者の管理、初期救急の当直はとても有意義でした。今後、整形外科、救急医療を目指しますが、初期研修で学んだプライマリーの知識を永く活かせる様、常に意識していきたいと考えています。



村上 真利子 医師（大阪市立大学出身）

1か月、2か月という時間の中で、どの科の先生方も熱心に指導してくださいました。研修医を育てようという温かい環境の中でコミュニケーションの大切さを学ぶことができたと思います。それを忘れず、自分もその輪を作る側になれるよう努力していきたいです。

後期臨床研修を終えるにあたって



池澤 賢治 医師

(大阪大学出身)

後期研修科：内科（消化器内科）

初期研修含め 5 年間お世話になりました。

部長先生・諸先輩方の熱心なご指導のもと、幅広い症例・手技を経験することが出来ました。また同時に研究発表・学会参加などの多くの機会を与えて頂き、アカデミックな面でも充実した研修をおこなうことが出来ました。

今年 4 月より大阪府立成人病センター消化器内科に異動します。

この恵まれた環境で今まで学んだことを忘れることなく、癌医療の専門家を目指して今後も努力していきたいと考えております。



小野 亜紀子 医師

(大阪大学出身)

後期研修科：内科（消化器内科）

私は手を動かすのが好きで学生の時から消化器内科医になりたいと思っており、前期臨床研修中に感じた大阪厚生年金病院消化器内科の活発な雰囲気憧れ、迷わず後期臨床研修先を決めました。後期臨床研修の 3 年間は上部・下部内視鏡検査を一から教えていただき、今では ESD などの内視鏡治療をさせていただけるようになりました。また、消化管疾患と肝胆膵疾患を偏り無く勉強できたのも上の先生方のご配慮があったからだと思います。

その他にも、様々な研究会や学会で発表させていただき、非常に充実した後期研修ができたことを心より感謝しております。



藤田 倫子 医師

(大阪市立大学出身)

後期研修科：乳腺内分泌外科

私は、病気の診断から治療、緩和医療まで携わりたいと思い、乳腺内分泌外科を志望しました。

一般外科では、多くの手術症例を経験するなかで、人の体にメスをいれることの責任や重みを実感しました。

心臓血管外科では、24 時間 on call の状態でした。体力的には大変でしたが、“患者さん第一”の精神を学ぶことが出来ました。

乳腺内分泌外科での 2 年間では、専門診療の責任、厳しさが求められ、大変鍛えられました。上級医に囲まれ、多くの症例を経験でき、恵まれた環境で研修できたと思います。

来年度からは大学院へ進学予定ですが、これからも乳腺外科医として視野を広げていきたいと思っています。

2009 年に後期研修を終える新臨床研修制度の一期生で、初期・後期の 5 年間で当院で研修した医師に、この 5 年間の研修について述べてもらいました



別府 直仁 医師
(兵庫医科大学出身)

後期研修科：外科（消化器外科）

この度、5 年間の臨床研修を終えることができました。点滴も取れない状態で初期研修を始めた頃を懐かしく思います。仕事内容はもちろん人間関係、さらには社会人としての常識を教えて頂けたと思います。今後、別の病院で働くこととなりますが、当院で教えていただいたことを忘れず、人生の肥しにしたいと思います。最後に外科で辛いとき、うれしいときと一緒に過ごさせていただいた皆様に本当に感謝しています。



別府 曜子 医師
(大阪大学出身)

後期研修科：外科（消化器外科）

初期研修では医師として基礎的なことだけでなく、人との関わり方を学びました。医療においてはチームワークや信頼関係が大切だと実感しました。後期研修では外科を専攻し、患者さんの初診から入院、手術、退院まで、指導医の下で主治医として治療の計画から実践まで担当させて頂き、密度の濃い 5 年間となりました。主体的に関われたことで、悩むことや苦しいこともたくさんありましたが、その分、身に付いたと感じています。

研修中は結婚や出産で環境が大きく変わりましたが、周囲の方々にカバーしていただき、何とか研修を続けることができました。これからも皆様のお役に立てるよう、仕事を続けて行くつもりです。

後期研修修了にあたり

臨床研修部部長
副院長 山崎 芳郎



新臨床研修医制度が発足して 5 年、その第一期生は 8 人（2 年通年）中 7 人が初期研修修了後も当院で後期研修に励みました。

大浦（眼科）・大橋（麻酔科）両先生は昨年転勤され、残りの先生方もこの 3 月で一区切りとなります。初期研修当初は採血すら満足におこなえず、指導医からの叱咤激励に悔し涙を流していたのが昨日の様に思われますが、今では手術を初めとする

周術期管理や内視鏡・超音波検査の多くを単独で任される迄に成長し、外科学会専門医と内科学会認定医（各々の合格率 82.6% と 93%）も不利な条件の中無事取得された事を嬉しく思っています。今後は更に精進されサブスペシャリティ分野の専門医・指導医を取得し、将来機会があれば是非とも大阪厚生年金病院で後輩の指導を担って頂ける様切望致します。

フットケア外来のご案内

当院皮膚科では、従来より外来透析患者さんを対象として透析室のフットケア回診を実施し、一定の成果を上げてきました。

さらに2008年10月からは、内科（糖尿病グループ）と協力して皮膚科内にフットケア外来を立ち上げました。

フットケア外来では、糖尿病足病変の重症化（足壊疽、足切断）を防ぐための予防的治療、管理を重点に、糖尿病足病変の患者さんに診察、検査、皮膚病変の早期発見、足の予防的ケア、セルフケア生活指導な



どをおこなっています。関連各科の医師、看護師、コメディカルスタッフのスキルを活かしたチーム医療をおこないます。

フットケア外来を通して、地域のかかりつけ医の先生方と病診連携、病病連携を一層深め、地域医療支援病院としての責務を果たしていければと考えています。

糖尿病性足病変ハイリスク要因としては、足潰瘍、足趾・下肢切断既往、閉塞性動脈硬化症、糖尿病神経障害などが挙げられます。

かかりつけ医の先生方の問診、視診で、足のしびれや感覚鈍麻、冷感、間歇性跛行、安静時疼痛、皮膚のびらん・潰瘍などを認める糖尿病患者さんがおられましたら、ぜひ当外来をご紹介しますようよろしくお願い申し上げます。

（皮膚科部長 池上 隆太）

受診のご案内

対 象	かかりつけ医の先生方からご紹介の糖尿病足病変患者さん
診 療 内 容	皮膚科診察 問診、視診、触診 足病変の重症度評価 検 査 アキレス腱反射、音叉、モノフィラメント、血圧脈波検査、超音波双方向血流検知、皮膚灌流圧、サーモグラフィー、CT アンギオ、MR アンギオなど 足病変の重症度、リスク度評価 治 療 各種治療 重症虚血肢に対しては、循環器内科、心臓血管外科と連携して薬物療法や、経皮形成術的血管形成術（PTA）、バイパス術などもおこなっています。 糖尿病性潰瘍、壊疽の原因となる胼胝（たこ）、鶏眼（うおのめ）、白癬、巻き爪・陥入爪など足病変の治療もおこなっています。 フットケア 足浴、爪きり、胼胝（たこ）削りなどの処置 再発防止フットケア教育 外来フォロー かかりつけ医の先生方と連携し、定期的に足のチェック
診 察 日	木曜日の 13：30 ～ 15：00
申し込み方法	予約制 （患者さん）かかりつけの医療施設を通してお申し込みください。 （かかりつけ医の先生方）地域医療連絡室にご連絡の上、ご予約ください。
予 約 窓 口	地域医療連絡室 TEL（06）6441－5463（かかりつけ医専用） *患者さんより予約はできません。
診療内容についての問い合わせ窓口	皮膚科外来 TEL（06）6441－5451（内線 2276） 時間／平日 9：00 ～ 17：00

地域医療連絡会が開催されました

平成 21 年 1 月 24 日（土）リーガロイヤルホテル（山楽の間）において、平成 20 年度の地域医療連絡会が開催されました。連絡会の開催前には、「平成 20 年度の第 4 回地域医療支援病院運営委員会、地域医療研修委員会、開放型病床運営委員会」が別室にて開催され、外部委員の先生方からは貴重なご意見をいただきました。

連絡会では、清野佳紀院長挨拶の後、向井克容（整形外科・医長）より「腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡下髄核摘出術」、島田幸造（整形外科・災害外科担当部長）より「自家組織移植による上肢の機能再建 ― 自分のパーツでどこまで治せるか ―」の講演が堀木整形外科・外科（大阪市北区）の堀木篤先生の座長のもと行われました。その後、各診療科紹介、懇親会へと進みました。

懇親会場では日頃、直接お会いすることが少ない地域の病院や診療所の先生方と当院の医師とが和やかに意見交換が行われました。地域医療連絡室と療養福祉相談室の担当者も地域の先生方にご挨拶をさせていただきましたが、

時間の制約もあり、全ての先生方にご挨拶出来なかったことをこの場をお借りしてお詫びを申し上げます。地域の先生方には今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



保健福祉事業講演会開催報告

2008 年 10 月 18 日（土）に当院第一会議室において、近隣の病院・診療所・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所等の医療従事者の方を対象に保健福祉事業講演会を開催致しました。

梅原里実認知症看護認定看護師（湯河原厚生年金病院看護師長）に「認知症患者とその家族への支援について」のテーマで認知症患者の特徴・認知症の進行に対応した援助・介護者への支援方法など

の講演をしていただきました。

23 施設 40 名の方に参加いただき、講演終了後は「具体的に日常にそった内容でわかりやすかった」

「対応の注意点と家族の思いを知ることができた」などのご意見をいただきました。また、講演会継続のご希望が多く、認知症テーマのシリーズ化や摂食嚥下について・疼痛コントロールなどを今後計画していきたいと思います。

（療養福祉相談室 寺内 孝子）



“ブレストチーム”によるミニライブが開催されました

平成 20 年 12 月 23 日（火・祝）午後 2 時から院内 1 階中庭前ホールで河村恭子さん（ジャズボーカル）、長井美恵子さん（ピアニスト）をお迎えして当院ブレストチーム主催のクリスマス・ミニライブを開催しました。

当日は、入院患者さん、お見舞いに来られた方を含め 140 ～ 150 名の方がお越しになり、お昼のひと時をクリスマスソングに酔いしれ、たいへんな熱気でした。



患者情報室 Lavender News 「ラヴェンダー」ニュース

患者情報室とは

患者さんが医療の情報を得たり、自己学習の場として、また、病院内でゆったりとした気分になっていただける空間として無料でご利用いただける施設です。

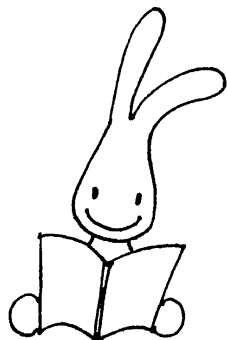
OPEN 月・水・木・金・土

※開室時間は院内の掲示か、お電話でご確認ください。
(通常 11:00 ~ 16:00)

場 所 別館 1 階
(スポーツ医学センター横)

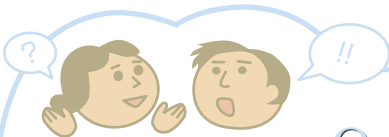
患者さんにご好評です！

ラヴェンダーでは 2007 年 4 月から大阪市立中央図書館より、月替わりで約 150 冊の図書をお借りしています。ラヴェンダーに所蔵のなかった大活字本や写真集など、大変喜ばれています。ご要望の図書の取り寄せも可能な限り対応いたします。スタッフまでお問い合わせください。



大阪市立中央図書館 団体借受図書 貸出ランキング (2008 年 1 月 ~ 10 月)

月	総借受冊数	のべ貸出冊数	貸出ランキング (3 回以上貸出された図書)	
1 月	160	75	コボちゃん 10 【5 回】 猫めぐりヨーロッパ：猫好きが作った猫好きのための 【4 回】 [大活字] 殺意の青函トンネル 1 ターシャの庭づくり	
2 月	154	97	カナダ オーロラ紀行 死ぬまで女 柴犬のき・も・ち 日本の名湯を旅する 九州編	
3 月	155	68	[大活字] 伊豆下賀茂で死んだ女 1 ~ 3 おいしい野菜の作り方：ベランダでも畑でも育つ定番野菜 31 種 [大活字] 脳を鍛える大人の名作読本 詩 初恋・汚れっちまった悲しみに… ブレイブ・ストーリー 上・下 ムダなしムリなし 普通の主婦が教えるたのしい節約生活術	
4 月	161	82	[大活字] もだんミステリーワールド 1 内田康夫集 【4 回】 きものと帯の組み合わせ 健康おかずと献立：おいしく食べてきれいにやせる 旅の途中で 十津川警部「オキナワ」 [大活字]「般若心経」を読む	
5 月	166	62	かんたんベランダ菜園：鉢・プランターでつくるハーブと野菜 美人犬ハンサム犬：かわいいこいぬ写真集 よりぬきサザエさん No.6	
6 月	178	99	[大活字] 十番斬り 1 (剣客商売) 【4 回】 [大活字] ALWAYS 三丁目の夕日 1 剣客商売 陽炎の男 [大活字] 十番斬り 2 ~ 3 (剣客商売) 俳句の花図鑑：季語になり折々の花、山野草、木に咲く花 460 種 松本清張初文庫化作品集 2 断崖	
7 月	163	69	こころの風景：よみうり風景写真コンテストより 2005 宿根草を楽しむ：はじめての草花づくり入門 夢にも思わない	
8 月	161	77	Guide & Photo 旭山動物園 【4 回】 [大活字] 勝負 2 ~ 3 (剣客商売)	
9 月	178	111	華と野菜づくりをもっと楽しむ! 【4 回】 [大活字] 町奉行日記 上・下 【4 回】 紅椿の谷一書さ下ろし長編時代小説 【4 回】 俳画花一輪—やさしく描く— 絵手紙の小道—入門書—	総合学習に役立つみんなの世界遺産 猫たちよ! 浅井慎平 長谷川町子全集 30 サザエさん 藤沢周平珠玉選 1 [大活字] 陽炎の男 1 ~ 3 (剣客商売)
10 月	195	136	老婆は一日にしてならず 大阪市電が走った街今昔 古写真で見る失われた城 京都紅葉百景 [大活字] バカの壁 上 [大活字] 白い鬼 1 ~ 3 (剣客商売)	



患者相談室

Open Win/d より
オープン・ウィンド

昨年8月から11月まで投書箱、「みなさまの声」に寄せられた件数は14件で、患者相談室に寄せられた相談等は75件です。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q

診察の予約を変更するため、予約票に書かれた電話番号にかけても話中で接続できないので、仕方なしに変更手続きをしにわざわざ来院した。

A

予約センターの電話がかかりにくく、わざわざご足労いただき申し訳ございません。午前中は特に紹介患者さんの窓口対応で混み合い、そこに電話がかかりますとなかなか別の電話に出るのが難しい時があります。お時間をとおいておかけ直しいただくか、比較的窓口のすいている午後におかけいただきますようお願いいたします。

Q

採血は入院患者優先開始 8:00、外来は 8:30 スタート。逆でないと社会通念上通らない。外来は勤めを持っている人が多いため、是非逆の方法を採用して欲しい。

A

採血室の業務は、従前 8:30 から行ってきましたが、平成 19 年夏から入院患者さんに限り 30 分繰り上げ、8:00 から採血を開始しました。これは 8:30 から外来及び入院患者さんを同時採血していたことにより、採血室が非常に混雑していたこと、また、入院患者さんの採血が遅れることにより、回診、処置、治療などに支障を来しておりました。入院患者さんの採血を 30 分早くすることでずいぶん解消され、また、8:30 の外来患者さんの待ち時間も短縮することができております。今後とも待ち時間を少なくするよう業務の改善を図って参ります。何卒、採血室の現状をご理解いただきますようお願い申し上げます。

Q

医師及び看護師から退院後の生活で注意を要する事項の説明がありません。一般的な注意事項の説明書がありましたが、患者本人に対する説明が不十分であると思います。

A

貴重なご意見ありがとうございました。病院として、退院時には一般的なこと（次回受診日、薬剤の服用等）のみでなく、患者さん一人ひとりの退院後の生活を思い、注意点をお伝えするように指導いたします。申し訳ありませんでした。

Q

予約票・採血予約票等は A4 大の用紙をいただいておりますが、外来患者には大きすぎます。考えてみてください。

A

当院では、①患者さんへの読みやすさ、②安全で間違いの起こりにくい様式、③業務の効率化を目的に患者さんにお渡ししております。A4 サイズに統一することで現段階では最も効率的と判断しております。

患者さんへのお願い 当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて



(地域医療連絡室)

TEL (06) 6441-5451 (代)

AM 9:00 ~ PM 5:00

(土日祝日を除く)

当院では、**整形外科（リウマチ科・スポーツ医学科を含む）の初診は他医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただきます。一度通院していた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となり、他医療機関からの紹介が必要です。

受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者さんからの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。**再診も、初診と同様にすべて予約制**です。

診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。



《重要なお知らせ》**病院敷地内 全面禁煙**

当院は病院敷地内全面禁煙です。

かかりつけ医さん こんにちは

飯尾クリニック

院長 飯尾 雅彦

〒561-0832 豊中市庄内西町3-6-8

TEL 06-6336-2460

FAX 06-6336-2460

診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	—	○	○
16:30~20:00	○	○	○	—	○	—



●阪急宝塚線「庄内」駅下車、徒歩5分

診療科目

内科/外科/循環器科/
小児科

往診

無

休診日 木曜・土曜午後・
日曜・祝日

駐車場 無



飯尾先生とスタッフの皆さん



2才の時から暮らした庄内で開業し、早15年が経過します。

自院でフォローできる疾患か、或いは高度医療を必要とするのかを常に念頭において診療するよう、心がけております。

その意味からも大阪厚生年金病院には多くのエキスパートの方がおられ、また先輩、同級生も多く、心強い限りです。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

江頭医院

院長 江頭 明盛

〒553-0004 大阪市福島区玉川3-6-14 グランドヴィラ玉川1F

TEL 06-6444-6733

FAX 06-6444-6733

診療時間	月	火	水	木	金	土
10:00~12:30	—	○	○	—	○	○
14:00~17:00	○	○	○	—	○	—
土曜日は9:00~12:00						



●JR環状線「野田」駅・地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩5分

診療科目

胃腸科/内科

往診

無

休診日 月曜午前・木曜・
土曜午後・日曜・
祝日

駐車場 無



江頭先生



平成14年6月に玉川で開業してから、はやくも6年が過ぎました。

なるべく時代に沿った診断・治療を地域の皆さんに心掛けようと、UpToDate、DynaMed、各種ガイドライン、講習会、メーリングリスト等で知識を習得しようとしていますが、なかなか思い通りにいかないのが現状です。

さて、大阪厚生年金病院の皆様には、開業時より大変お世話になっております。特に救急疾患疑いの患者さんをいつも快く引き受けていただけるので大変心強く思っております。これからもいろいろ御迷惑をおかけすることと思いますが、よろしくお願いいたします。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

こみ整形外科

院長 小味 克巳

〒577-0802 東大阪市小阪本町1-3-2

TEL 06-6720-3953

FAX 06-6720-4088

ホームページ <http://www5.ocn.ne.jp/~dot-komi/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	○	○	○	—



アクセス

●近鉄奈良線「河内小阪」駅下車、徒歩1分

診療科目

整形外科/外科/
リハビリテーション科

往 診

無

休診日 土曜午後・
日曜・祝日

駐車場 無



小味先生

東大阪の小阪で整形外科クリニックを始めて11年目になります。
より正確な診断に基づいた細やかな治療をモットーに、MRI、理学療法士、作業療法士、デイケア、ケアプランセンターを配置しています。
大阪厚生年金病院には、病診連携を通じて大変勉強させていただいており、病院からも信頼していただけるクリニックを目指して頑張りたいと思います。



寒川医院

院長 寒川 通洋

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東1-13-3

TEL 06-6551-2448

FAX 06-4394-3030

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	—
16:30~19:00	○	○	○	○	○	—



アクセス

●JR 環状線「大正」駅・地下鉄鶴見緑地線「大正」駅
下車、徒歩5分

診療科目

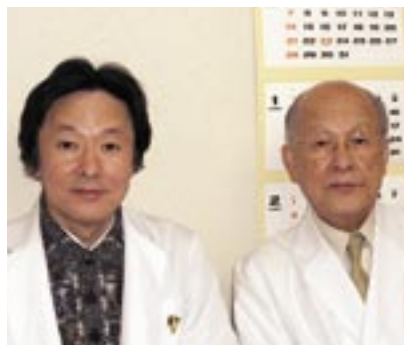
内科/外科/皮膚科/
眼科

往 診

有

休診日 土曜・日曜・祝日

駐車場 無



寒川先生(右)とご子息の淳先生(左)

半世紀有余、当地で開業、数年前より息子が眼科を併設しました。
大阪厚生年金病院には友人が勤務しており、清水院長、渡邊整形外科部長時代、一方ならずお世話になりました。
現在も各科の先生方にはお手数をおかけしております。
感謝しております。



各種教室

両親学級

問 大阪厚生年金病院（婦人科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2279）

- 開催日／毎月第 1、2、3 水曜日
- 時 間／13:30～15:30
- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- 費 用／1,000 円（3 回分）

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院（血液浄化センター）
☎ 06-6441-5451（内線 2667）

- 時 間／13:30～14:30
- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

※ 4 月と 8 月は休講

開催日	テーマ	対 象	担 当
5 月 28 日（木）	慢性腎不全の食事療法「春～夏の食事の工夫」	主に慢性腎不全患者様（保存期）	栄養部
6 月 25 日（木）	腎機能が低下しているといわれたら…「慢性腎不全との付き合い方」	慢性腎不全の患者様（Cr2mg/dl 以上）	医 師
7 月 23 日（木）	腎臓病と福祉制度（社会保障制度）	保存期、透析導入患者様	MSW
9 月 24 日（木）	慢性腎不全の食事療法（たんぱく制限の工夫）「秋の食事の工夫」	主に慢性腎不全患者様（保存期）	栄養部

糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2274）

- 時 間／14:00～16:00
- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

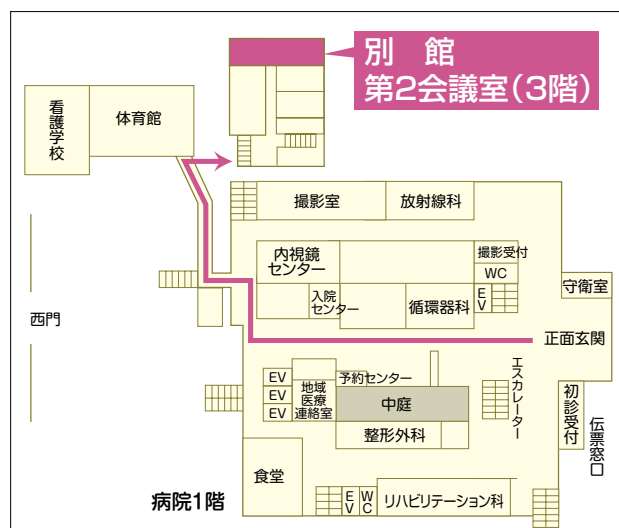
開催日	テーマ	担 当
4 月 2 日（木）	糖尿病治療の基本 …… 自己管理法（体重・尿糖・血糖・血圧測定） …… 血糖をさげる薬 ……	医 師 看護師 薬剤師
5 月 7 日（木）	糖尿病の薬物療法について …… インスリンについて …… 口の中の健康 ……	医 師 薬剤師 歯科衛生士
6 月 4 日（木）	糖尿病の運動療法について …… 運動の実際 ……	医 師 運動指導員
7 月 2 日（木）	糖尿病の合併症（動脈硬化） …… 合併症予防の食事 …… 合併症を悪くしないための薬 ……	医 師 管理栄養士 薬剤師
9 月 3 日（木）	糖尿病の合併症（目・腎臓・神経） …… 合併症を調べる検査 …… フットケア ……	医 師 検査技師 看護師
10 月 1 日（木）	食習慣と糖尿病 …… 料理の組み合わせ方 ……	医 師 管理栄養士



禁煙教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2274）

- 開催日／毎月第 1、3 水曜日
- 時 間／13:00～14:00
- 場 所／当院別館 第 2 会議室（3 階）*
- ※別館第 2 会議室（3 階）は、右記アクセス図をご参照ください。
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。



問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

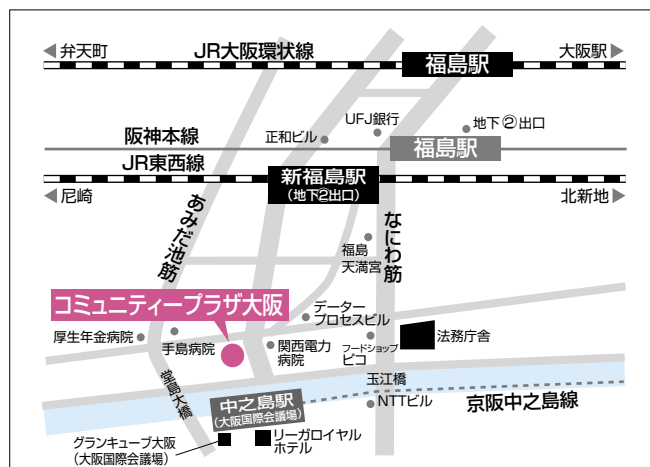
公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2274）

- 開催日／3月28日（土）
- 時 間／14：00～16：00
- 場 所／コミュニティプラザ大阪※
※コミュニティプラザ大阪は、右記アクセス図をご参照ください。
- テーマ／肝臓病管理のエッセンス 肝硬変編
- 担 当／片山部長
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要。直接お越しください。



院内の公開講座

対象：医療従事者

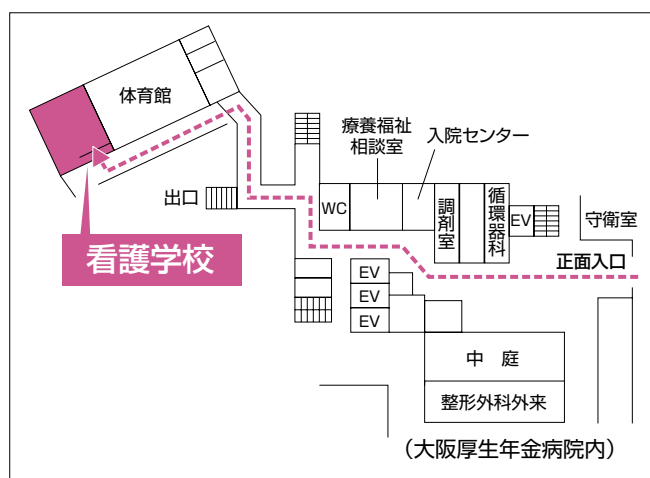
院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院（地域医療連絡室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時	場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日 17：30～19：00	2階 第2会議室
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日 19：00～21：00	2階 第1会議室
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日 17：00～18：30	4階 カンファレンス室
婦人科腫瘍症例検討会	第4木曜日 17：00～17：30	2階 第2会議室
臨床病理検討会（CPC）	毎月最終水曜日 17：30～18：30	看護学校視聴覚室※

※看護学校は、右記アクセス図をご参照ください。

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の1週間以内に地域医療連絡室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。



中之島ストローク・カンファレンス

問 大阪厚生年金病院（脳神経外科／部長 藤田）
☎ 06-6441-5451（内線 2272）

- 開催日／7月9日（木）
- 時 間／19：00～21：00
- 場 所／コミュニティプラザ大阪
※コミュニティプラザ大阪は、上記アクセス図をご参照ください。
- テーマ／脳血管障害の画像と病理 症例検討会
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

参加対象者限定：医療従事者のみ

住友病院神経内科、関西電力病院神経内科・脳神経外科、当院脳卒中センターが集まっての勉強会です。医療関係者で興味のある方は奮ってご参加ください。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間

8:30～11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてお待ちください。整形外科は紹介状なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日 (月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからの FAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室 (診察予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- 救急部/プライマリケア教育研修センター
- 内 科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器科
- 小児科
- 外 科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼 科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来
- 集中治療部

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/>でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診 (月曜日)、再診 (月・火・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

大手術後、院内重症患者さんを集中的に治療する部門です。
救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者さん等を受け入れ、治療しています。

救急部

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24 時間手術可能です。
小児、産婦人科の急患も受け付けます。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療 (内視鏡的手術) を目的としています。

申 かかりつけ医の先生から FAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。
退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

スポーツ医学センター

問 (06) 6441-5451 (内線3101)

火・水・金・土 9:00～17:00

月・木 9:00～20:30

E-mail: spo-cen@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック

問 ドック相談室

TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 入院センター TEL (06) 6441-5451 (代)

NICU (新生児集中治療室)

問 NICU当直医

TEL (06) 6441-5451 (代)

24 時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院も受け入れ、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

問 かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医 (かかりつけ医) と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来

問 医事課

TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日 (受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口 (①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診

問 乳腺・内分泌外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第 4 水曜日の午後 1:00 と 3:00、

毎週木曜日の午後 4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)

女性がん検診

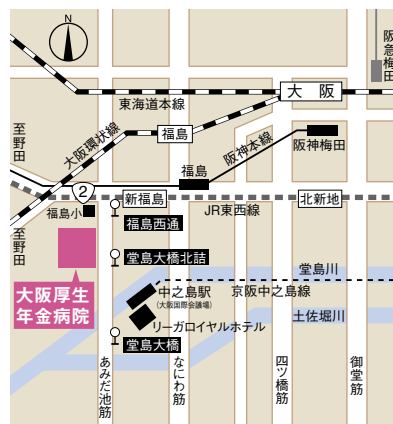
問 産婦人科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週金曜日 午後 2:00～午後 3:40

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)



交通のご案内

- JR東西線
「新福島駅」下車 (出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 京阪中之島線
「中之島駅」下車 (出口①)、徒歩約5分
- 市バス
大阪駅前 79 → 「福島西通」下車
大阪駅前 55 → 「堂島大橋北詰」下車
大阪駅前 53 → 「堂島大橋」下車
- タクシー
「大阪駅」より約10分

大阪府「男女いきいき・元氣宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／につけ子育て支援大賞受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています